

〈特集補遺「モダリティ」〉

ベトナム語におけるモダリティ Modality in Vietnamese

ファム・ティ・タイン・タオ
Phạm Thị Thanh Thảo

東京外国語大学大学院総合国際学研究所
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿の目的は、特集「モダリティ」(『語学研究所論集』第16号, 東京外国語大学)における30個のアンケート項目に対するベトナム語のデータを与えることである。

Abstract: This report aims to provide the Vietnamese data which answers the 30 survey questions for the special volume of the *Journal of the Institute of Language Research* 16, which focuses on the cross-linguistic study of 'modality'.

キーワード: ベトナム語, モダリティ, 法動詞, 文末詞

Keywords: Vietnamese, modality, modal verb, sentence-final particle

1. はじめに

ベトナム語におけるモダリティは法動詞(modal verbs)や法形容詞(modal adjectives), 法副詞(modal adverbs), モダリティ性を持つ文末詞(sentence-final particles)によって表現される。文に現れる位置としては, phải「～しなければならない」や muốn「～したい」, cần「要る」のような法動詞は動作動詞の前に, chán chán「～に違いない」, rõ ràng「明らか」のような法形容詞や hình như「～ようだ」, có lẽ「たぶん～だろう」, chắc là「きっと～だろう」のような法副詞は文頭または節の前に, nhé/nào(勧誘・提案)や đây(強調)のような文末詞は文末に置かれる。

Nguyễn Thị Thu Thủy(2012)は、ベトナムで発行される学術雑誌に掲載されるベトナム語の89論文(総400,000トークン¹数)コーパスを基に、各種モダリティの出現頻度を考察している。その結果、総出現頻度5076回の中で最も多いのは4,497回を占めた động từ tình thái(modal verbs)である。次に, tính từ tình thái(modal adjectives)が249回, trạng từ tình thái(modal adverbs)が195回, danh từ tình thái(modal nouns)が104回, động từ rào đón(speaker-oriented hedges verbs)が31回現れている。法動詞の中では, phải「～しなければならない」(1,366回), có thể「できる」(877回), cần「要る」(866回)の出現頻度上位3語である。発話目的や話し手の態度・社会的位置を表す、重要なモダリティ性を持つ文末詞は考察対象外であるが、上記のデータからベトナム語におけるモダリティの使用傾向を概観できると思われる。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹Nguyễn Thị Thu Thủy(2012:40)は、「ベトナム語の語は文を作るための意味のある最小の単位であり、1音節の形をとり、いわゆる分かち書きをされる字である。」という Nguyễn Thiện Giáp(1985:72)の提唱した語の定義に従い、1音節を1語と見做す。筆者は、ここでは、「トークン」(空白で区切られた音節)という用語を使うことにした。

本稿では、ベトナム語におけるモダリティについて、アンケート項目に従い、ベトナム語のデータを検討していきたい。

本稿で示すデータは、ベトナム国内の地域方言の差を超えて使われる、ベトナム語の標準方言（北部）のものである。例文は筆者及び北部出身の1名が特集アンケートの日本語文に基づいて作成した²。調査方法としては、例文の日本語を可能な限り自然なベトナム語に訳すというものである。ベトナム語の例文を追加する場合、グロスの下にさらに「 」を加え日本語訳を示す。ベトナム語文中の（ ）は、（ ）内の語彙の有無が文の意味に影響しないことを示す。また、日本語に対応するベトナム語語彙・表現が複数ある場合は、.../...と併記し、どの語彙・表現を使ってもよい、ということを示す。

2. 例文

(1) (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ。 【許可】

(Nếu xong việc thì bạn có thể về được rồi đấy.
～したら 終わる 仕事 CON (結果) 2SG できる 帰る PRF よ

許可を表す (1) では、「có thể + 動詞 + được」という可能表現が用いられている。動詞 về 「帰る」は có thể と được の間に挿入されている。「có thể + 動詞」あるいは、「動詞 + được」のように、どちらか一方を省略しても構わない。また、文末には日本語の終助詞に対応する、許可の意を強調するモダリティ小辞 (modal particle) đấy (以下、文末詞 (sentence-final particle) という) が来る。

(2) a. (腐っているから、あなたは) それを食べてはいけない。 【禁止】

(Vì thiu rồi nên bạn không được ăn cái đó.
～だから 腐る PRF CON (結果) 2SG NEG できる 食べる それ

b. それを食べるな。

Đừng/chớ ăn cái đó.
PROH 食べる それ

「được + 動詞」は「許可や権利があって、～することができる」という許可表現である。(2a) では、さらに否定語 không を được の前につけ、「không được + 動詞」という禁止表現となり、相手の行為に許可を下ろさない、すなわち「～してはいけない」という意味になる。また、「～してはならない」という禁止表現もこの「không được + 動詞」というパターンと対応し得る。

(2b) のように、(2a) よりやや強い禁止の意を表現するときに, đừng または, chớ が使われている。đừng は đừng đi 「行かないで」のような「～しないで」を用いる表現にも相当する。không được と đừng は北方方言である chớ より使用頻度が高い話し言葉である。

² アンケートへの回答は, Thẩm Thúy Hồng (ハノイ国家大学外国語大学日本語文化学部日本語講師, 北部出身), ベトナム語における表現上の助言は Bùi Duy Dương (東京外国語大学特定外国語教員) と Lê Thị Mỹ Hạnh (ダナン国立大学外国語大学日本語学科元日本語講師), 本稿の日本語の校閲は野村純太 (東京外国語大学言語文化学部ベトナム語専攻4年生) に依頼した。ここに感謝の意を記したい。

最も禁止の意が強い表現は **cấm** 「禁止する」である。「**cấm** + 動詞」という形式で使われ、**cấm đỗ xe** 「駐車禁止」や **cấm vào** 「立入禁止」、**cấm chụp hình** 「写真撮影禁止」などのような禁止形は看板や標識などでよく目に入る書き言葉である。

(3) (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない。【義務】

(Vi muộn rồi nên) chúng ta **phải** về thôi.
～なので 遅い PRF CON (結果) 2PL OBLG 帰る PTCL

義務は、動詞 **về** 「帰る」の前に **phải** を用いて表す。また、「他の選択がなく必ず～する」の意味を強調する場合、**phải** の前に **bắt buộc/buộc** 「強引に従わせる」を付け加えることもある。この **bắt buộc/buộc** は「無理やりさせる」という意味を表す、最も使役性が高いものである (Nguyen Thi Ai Tien 2014:184)。

(4) a. (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ。【推奨】

(Vi nghe nói trời sẽ mưa) **nên** nhớ mang theo ô nhé!
～だから HS 天 FUT 雨 CON (結果) 覚える 携帯する 傘 PTCL

b. 家に帰ったほうがいい。

Bạn **nên** về nhà.
2SG OBLG 帰る 家

c. タバコを吸わないほうがいい。

Bạn **không nên** hút thuốc.
2SG NEG OBLG 吸う タバコ

「～たほうがいい」という推奨表現は「**nên** + 動詞」と対応する。(4b) は **nên** の後に **về** 「帰る」が来る。その一方、「～しないほうがいい」を表す否定文である (4c) においては **nên** の前に否定語 **không** が置かれている。ただし、因果関係を表す (4a) のような文では、「Vi...**nên**...」 「～だから、～」という構文が使われ、この構文の **nên** は法動詞の役割が薄れ、結果を導く連結詞となっている。そのため、**nên** の後に “**nhớ mang theo ô nhé!**” 「傘を持っていくのを覚えてくださいね。」というような節が来るとより自然である。

(5) 歳をとったら、子供の言うことを聞くべきだ／聞くものだ。【評価的義務】

Khi có tuổi rồi thì **nên** nghe lời con cái nói.
～時 ある 歳 PRF CON (結果) OBLG 聞く 子供 言う

アドバイスを出す推奨表現以外に、「～べきだ」や「～ものだ」のような評価的義務を表す文においても、**nên** が用いられる。

(6) お腹が空いたので、(私は) 何か食べたい。【希望】

Vi bụng đói nên (tôi) **muốn** ăn cái gì đó.
～なので お腹が空く CON (結果) 1SG ～たい 食べる 何か

希望の表現は動詞の前に **muốn** 「～たい」をつけて、「**muốn** + 動詞」という形式で表す。そして、「お金が欲しい」「恋人が欲しい」のような「名詞」を欲する場合は、**muốn** の後に所有する意味を表す **có** 「有る」が現れる必要がある。**muốn có tiền** 「お金が欲しい」や **muốn có người yêu** 「恋人が欲しい」のように「**muốn có** + 名詞」という形式が使われる。

(7) 私が持ちましょう。 【意志】

a. **Để** **tôi** **cầm** **cho**.
させる 1SG 持つ あげる
「私に持たせてください。」

b. **Tôi** **cầm** **cho** **nhé!**
1SG 持つ あげる PTCL.MOD
「私が持ってあげましょうか。」

(7) では、**cầm cho** 「持ってあげる」という授受表現が用いられる。ただし、話し手の意志で申し出ることを聞き手の承諾を得て実行する意味を表す (7a) では **để** 使役構文が用いられる。また、(7b) では文末詞 **nhé** を置き、「私が持ってあげましょうか」のように承諾を求めると同時に、聞き手に対する親密な態度をも表す。

(8) じゃあ、一緒に昼ご飯を食べましょう。 【勧誘】

Vậy, chúng ta cùng ăn cơm trưa nào!
じゃ 2PL 一緒に 食べる 昼ご飯 PTCL.MOD

(8) は勧誘の意味と催促のニュアンスを伝える文末詞 **nào** が用いられる。

(9) 一緒に昼ご飯を食べませんか? 【相手の意向が不明な場合の勧誘】

Chúng ta cùng ăn cơm trưa nhé?
2PL 一緒に 食べる ご飯 昼 PTCL.MOD

相手の意向が不明な勧誘では、(7b) のように、文末詞 **nhé** が現れる。ただし、相手に答えを尋ねる疑問文であるため、感嘆符 (!) の代わりに、疑問符 (?) が使われる。

(10) 明日、良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。 【希望】

Ước gì/mong sao ngày mai trời đẹp!
望む／希望する 明日 天 良い

「～といいなあ」、「～てほしいなあ」という願望を表す (10) では、法動詞 **ước gì** または **mong sao** が用いられる。ただし、動作動詞の直前に来る (6) の **muốn** 「～たい」に対し、**ước gì** または **mong sao** は文頭に来る。

- (11) (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。【命令】
 (Tôi sẽ đợi ở đây nên) bạn hãy mang cái đó đến ngay đi.
 1SG FUT 待つ ここ CON (結果) 2SG IMP 持つ それ 来る すぐに ~てください

命令文では, “hãy...đi” または, “hãy...”, “...đi” のように, どちらか一方が省略されても構わない。目上の人への命令は “Xin...hãy...” という構文を使う。Xin は文頭, hãy は動詞の前に置かれる。

- (12) そのペンをちょっと貸していただけませんか? 【懇願】
 Bạn có thể cho tôi mượn cây bút đó một chút được không vậy?
 2SG できる させる 1SG 借りる CLF ペン その ちょっと できる Q PTCL

「~していただけませんか」という懇願, いわゆる要望を示す (12) では, 可能表現 “có thể...được...” と使役表現 cho が組み合わさり, 訳文から見えるように, “...có thể cho...được không vậy?” と対応する。

- (13) あの人は中国語が読めます。/あの人は中国語を読むことができます。【能力可能】
 Người đó có thể đọc được tiếng Trung.
 人 あの できる 読む 中国語

能力可能を表す (13) においても, 可能表現 “có thể...được...” が用いられる。動詞が có thể と được の間に挟まれ, 「có thể + 動詞 + được」となる。(1) で先述したとおり, 「có thể + 動詞」あるいは, 「動詞 + được」のように, どちらか一方を省略して表現することが可能である。

- (14) 明かりが暗くて, ここに何が書いてあるのか, 読めない。【状況可能】
 Vì ánh sáng kém nên tôi không thể đọc được ở đây viết cái gì.
 ~だから 明かり 弱い CON (結果) 1SG できない 読む ここ 書く 何

状況可能を否定形で使う場合には, có を否定語 không で置き換え, 「không thể + 動詞 + được」という表現になる。また, (1) における可能表現の肯定形と同様の省略ができるが, 「không thể + 動詞」, 「không + 動詞 + được」のように, 否定語 không を要する。

- (15) (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ/もう着いたに違いない。【確信】
 Chắc chắn bọn họ đã đến nơi rồi (vì đã xuất phát từ sáng sớm).
 ~はずだ 3PL ANT 着く PRF (CON (原因) ANT 出発する から 朝 早い)

- (16) (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう。【推量】
 Có lẽ (người đó) ngày mai không đến đâu.
 ~だろう 人 あの 明日 NEG 来る PTCL.EMPH

- (17) 彼らはまだ来ないなんて, きっと途中で車が壊れたんじゃないか。【疑念】
 Bọn họ mà chưa đến thì chắc là đã bị hỏng xe giữa đường rồi đây.
 3PL CON NEG 来る CON きっと ANT MODV 壊れる 車 途中 PRF PTCL.EMPH

(18) (昼間だからあの人は家に) さあ、いるかもしれないし、いないかもしれない。 【可能性】

a. (Vi là buổi trưa nên) có thể người đó có hoặc không có
～だから COP 昼間 CON (結果) ～かもしれない 人 あの いる あるいは NEG いる

(ở nhà).

に 家

許可を表す「～してもいい」(1)と、能力可能を表す「～できる」(13)以外、可能性があるという意味を表す「～かもしれない」(18a)においても、có thể が用いられる。何かをするための条件や能力を満たしていることを表現する(1)と(13)の có thể に対し、(18a)の có thể はある事象が起きる客観的な可能性を示す(cf. Hoàng Phê 2003:196)。また、(1)と(13)の có thể は動作動詞の前にのみ来るが、(18a)の có thể は文頭にも置くことができる。Cao Xuân Hạo (1999:397)の例文(18b)と(18c)を取り上げる。

b. Nó có thể hoãn tàu.
3SG ～かもしれない 乗り遅れる 列車
「あいつは列車に乗り遅れるかもしれない。」

c. Có thể nó hoãn tàu.
～かもしれない 3SG 乗り遅れる 列車

(19) (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ。 【視覚／聴覚以外の感覚による判断】

Hình như bạn (bị) sốt rồi.
～ようだ 2SG MODV 発熱する PRF

(15)～(19)では、確信度の度合いに応じて、可能性・確信度を表す法形容詞(modal adjective)・法副詞(modal adverb)が選択される。(15) chắc chắn 「～に違いない／～はずだ」>(17) chắc là 「きっと～(だろう)」>(16) có lẽ 「たぶん～だろう」>(18) có thể 「～かもしれない」>(19) hình như 「～ようだ」のように確信度の度合いが降順に並べられている(Diệp Quang Ban 2009:345)。このようなモダリティを表す形容詞・副詞は文頭・文節の前に来ることが多い。

(20) (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。 【伝聞】

a. Nghe nói ngày mai trời (sẽ) mưa.
HS 明日 天 FUT 雨が降る

b. (Theo dự báo thời tiết thì) ngày mai trời (sẽ) mưa.
～による 天気予報 CON 明日 天 FUT 雨が降る

伝聞の表現では、(20a)のように、よく nghe nói (聞く＋言う)「～そうだ」が用いられている。ただし、(20b)のように「天気予報によれば」という明確な情報源がある場合、nghe nói が省略可能である。

- (21) もしお金があったら, あの車を買うんだけれどなあ. 【反実仮想】

Nếu/Giá (mà) có tiền thì tôi sẽ mua chiếc xe đó, **thế nhưng...**
もし~だったら ある お金 CON (結果) 1SG FUT 買う CLF 車 あの しかし…

(21) は仮定文であるため, 一般的な条件表現を表す “Nếu...thì...” という構文によって表現される. また, 「望んでいるが, 実現するのはなかなか難しい」という残念な思いを含意する “Giá (mà)...thì...” 構文を使うこともできる. 後節には, 未来を表す sẽ が使われる. また, 反実仮想を表現する場合, 文末に thế nhưng... 「しかし…」をつけることでより明確になる.

- (22) もしあなたが教えてくれていなかったら, 私はそこにたどり着けなかったでしょう.

【反実仮想過去】

Nếu bạn không chỉ cho tôi thì có lẽ
~したら 2SG NEG 教える ~に 1SG CON (結果) ~だろう
tôi đã không thể đến được chỗ đó.
1SG ANT できない 来る そこ

反実仮想の過去を表す (22) では, “Nếu...thì...” が用いられる. ただし, 不満や後悔する気持ちを含まないで, (21) のように, “Giá (mà)...thì...” が使えない. また, 後節には, 推量を表す có lẽ 「~だろう」が後節の前に置かれ, 過去完了アスペクトマーカ―đã が現れる.

- (23) (あの人は) 街へ行きたがっている. 【3人称の主体による希望】

Người đó muốn xuống phố.
人 あの ~たい 下りる 町

希望のうち, 3人称が主体である文においても, muốn 「~たい」を用いて表す.

- (24) 僕にもそれを少し飲ませろ. 【1人称命令】

Cho tôi uống cái đó một chút.
させる 1SG 飲む それ 少し
「私にもそれを少し飲ませて。」

1人称命令の (24) では, 命令表現が現れず, 使役の表現 cho のみが使われる.

- (25) これはあの人に持って行かせろ/持って行かせよう. 【3人称命令】

Cái này thì hãy để người đó mang đi.
これ TOP IMP させる 人 あの 持って行く

(25) では, 命令表現 hãy と使役表現 để との組み合わせで表す.

- (26) そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい. 【遠未来命令形】

Bánh kẹo để trên bàn thì để sau hãy ăn.
お菓子 置く 上 テーブル TOP 後で IMP 食べる

遠未来命令も、一般の命令文なので、*hãy* が用いられる。*hãy* の後に動詞 *ăn* 「食べる」が来る。

(27) もっと早く来ればよかった。 【反実仮想】

Giá mà đến sớm hơn chút thì (đã) tốt rồi.
CON (仮定) 来る 早く より 少し CON (結果) ANT 良い PRF

(27) のような不満や後悔する気持ちを含む反実仮想を表す条件文では、“*Giá mà...thì (đã) tốt rồi*” という構文によって表現される。

(28) あなたも一緒に行ったら（どうですか）？ 【脱従属化】

a. ***Nếu bạn cũng cùng đi?**
～したら 2SG も 一緒に 行く

b. **Bạn cũng cùng đi chứ?**
2SG も 一緒に 行く PTCL

c. **Bạn (có) cùng đi không?**
2SG 有る 一緒に 行く Q

(28a) から分かるように、脱従属化（言いさし）の表現をベトナム語にした形式は容認されず不自然な表現となる。その代わりに、勧誘のニュアンスを強める文末詞 *chứ* が来る (28b) または、“... (có) ... không?” 「～しますか」という疑問形を用いる (28c) のような文が使われている。

(29) オレがそんなこと知るか！ 【(疑問詞を含まない) 反語】

a. **Làm sao mà tôi biết được điều đó?**
どうやって CON 1SG 知っている できる そんなこと

b. **Biết chết liền.** 【慣用句】
知っている 死ぬ ～ならすぐに
「知ってたら死ぬぞ。／知ってるわけないだろ。」

(29a) は “*làm sao (mà)...được...*” 「どうして～できようか！」 「わけがないじゃん!？」 というような反語構文を用いて表す。また、(29b) は近年広く定着した慣用句である。

(30) これを作った（料理した）のは、お母さんだよな？いいえ、私が作ったのよ。 【付加疑問】

Người làm món này là mẹ của bạn, (có) phải không/đúng không?
人 作る 料理 この COP お母さん POSS 2SG 有る 正しい Q 正しい Q
Không, tôi làm đây.
いいえ 1SG 作る よ

(30) の付加疑問「～だよな？」はベトナム語の “... (có) phải không?” または、“... (có) đúng không?” 「～は正しいですか」に相当する。平叙文と付加疑問の間には、コンマが必要となる。

略語一覧

ANT: anterior 完了, CLF: classifier 類別詞, CON: connective 連結詞, COP: copula コピュラ, EMPH: emphatic 強調, 1: first person 一人称, FUT: future 未来, HS: hearsay 伝聞, IMP: imperative 命令, M: male 男性, MOD: modality モダリティ, MODV: modal verb 法動詞, NEG: negation 否定, NUM: numeral 数辞, OBLG: obligation 義務, PTCL: particle 小辞, PASS: passive 受け身, PRF: perfect 完了, PL: plural 複数, POSS: possessive 所有, PROH: prohibitive 禁止, Q: question marker 疑問マーカー, 2: second person 2 人称, SG: singular 単数, 3: third 3 人称, TOP: topic 主題.

参考文献

- Cao Xuân Hạo.1999. *Tiếng Việt: mấy vấn đề ngữ âm, ngữ pháp, ngữ nghĩa*. NXBGD. Hà Nội.
- Diệp Quang Ban.2009. *Ngữ pháp Việt Nam (Tái bản lần thứ 2)*. NXBGD. Hà Nội.
- Nguyễn Thị Thu Thủy.2012. “Tính tình thái chủ quan và tình thái khách quan trong các văn bản khoa học tiếng Anh và tiếng Việt”, *Tạp chí Ngôn ngữ số 6*, pp.40-56.
- Nguyen Thi Ai Tien.2014. 『日本語とベトナム語における使役表現の対照研究 —他動詞, テモラウ, ヨウニイウとの連続性—』.博士論文.大阪大学.

辞書

Hoàng Phê (chủ biên).2003. *Từ điển Tiếng Việt*. NXB Đà Nẵng.

執筆者連絡先 : pttthao@ufl.udn.vn

原稿受理 : 2020 年 4 月 13 日